

2018年マハー シヴァラートリー祭に向けて

ナレンドラナート レッディ博士からのビデオメッセージ

映像URL：<http://sathyasai.org/video/mahasivarathri-significance-by-dr-narendranath-reddy>

愛と崇敬と感謝を込めて、私たちが最も愛する、最も甘美な、最も愛に満ちた主、バガヴァン シュリ サティヤ サイ ババの蓮華の御足に全託いたします。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、愛を込めてサイ ラムと申し上げます。

皆さんが、神聖な至福に満ちた幸福で神聖で吉祥のマハー シヴァラートリー祭を迎えられることを願っています。これは、すべての霊性求道者にとって重要なお祭りです。特にサイの帰依者にとってはより重要な意味があります。なぜなら、何十年もの間、マハー シヴァラートリー祭期間中には、何百万人という霊性求道者たちがサイ シヴァと共にこの祭りを祝おうと、大挙してプラシャーンティ ニラヤムに押し寄せたからです。サイはシヴァ御自身です。

1963年7月6日に、スワミの無限の慈悲と愛を体験することのできた私たちはなんと幸運なことでしょう。スワミはご自身で、自分がシヴァであるシャクティであると宣言されました。ご講話の中でも、このことを語っていらっしゃいます。(訳注：グル プールニマーのこの日、スワミは一週間以上麻痺していた左半身に水をかけてご自身を癒し、ご自分がシヴァ シャクティの化身であることを宣言されました。)

1958年11月、スワミは絶命していた若い女性を生き返らせ、「私はジョーディ アーディ パッリ ソーマパーヤ (シヴァとシャクティの姿を取った者) である」と宣言されたのです。108の御名の中に「ジョーディ アーディ パッリ ソーマパーヤ ナマハー」(シヴァの大威力を具有し給う神に帰命し奉る)があります。これは、サイは、再来したシヴァとシャクティと同じであるということを意味します。主ご自身が「自分はシヴァとシャクティの化身である」と宣言されたのを聞くのは素晴らしいことです。

初期の頃にプラシャーンティ ニラヤムにはシェーシャギリ ラオという僧侶がいました。彼が初めてスワミを見た時、彼にはスワミが大蛇を首に巻いたシヴァに見えました。それで彼は恐れおののき、約三日間至福の中に入ったのです。

それから、サイ ガーヤトリーのメッセージを世界に広めた一人である、皆さんもよくご存じのガンディ コータ スップラマニヤム シャーストリが、スワミに「あなたは誰なのですか?と尋ねた時のことです。スワミはサイとシヴァが一つであることを示す美しい絵を物質化されました。

そしてまた、2005年に起きた素晴らしい出来事にも触れておきたいと思います。私たちは、世界のさま

さまざまな場所から集まった約千人の代表者を迎えて、プラシャーンティ ニラヤムで国際医学大会を開催しました。すべての討議が終わった後、最後に、何人かの医師がスピーチをしました。その一人がヴェーンカタ サダーナンドという神経外科医でした。彼は話をした後に「スワミ、私は、自分の持っているものすべてを、私自身を、あなたの蓮華の御足に捧げます。どうぞあなたの真の姿を明かしてください」とスワミに祈りました。スワミは無限の愛と慈悲をもって「私はシヴァです」とおっしゃいました。それから優しく、美しいリングムのついたネックレスを物質化され、「これは私自身です。これはシヴァです。シヴァとリングムには何の違いもありません」と語られたのです。

スワミは、シヴァ神に関連する多くのことをなさってきました。スワミは私たちが辞する時にはいつでも、また、私たちがそこにいる時にはいつでも、ヴィブーティを物質化し、ヴィブーティ入りの小袋をくださって、祝福してくださいました。スワミはまた、何回もシルディ サイの像にヴィブーティ アビシェーカムをなさいました。また自らの手から、あるいは体内から、何度もリングムを物質化されました。

これらすべては、私たちに関係しています。そして私たちがシヴァ神である私たちのサイと共にいる幸運に恵まれ、祝福されてきたことを、常に確信させてくれます。ですからマハー シヴァラートリー祭は、サイ御自身であると語られたシヴァ神を思い起こすためのとても重要な時なのです。

霊性求道者は、毎月シヴァラートリーがあることを知らなければなりません。これは月が欠けていく二週間（クリシュナ パクシャ）の十四日目（チャトゥルダシー）にあたります。つまり、月がほんの少ししか見えない夜で、翌日の月は新月で目に見えません。これが「チャンドラマー マナソー ジャータハ」の重要なメッセージです。聖典は、心（マインド）を支配する神は月であると言っています。そしてスワミによれば、心（マインド）が束縛か解脱かのカギを握っているのです。「マナヴェーヴァ マヌシャナム カラナム バンダ モクシャヨーホ」——心を神に向ければ、あなたは解放されて解脱します。心を世俗に向ければ、あなたは束縛されます。ですから、心（マインド）の形跡が残っている時であるため、この夜が非常に重要なのです。その後は、もしあなたが心（マインド）を完全に神に向けているならば、心（マインド）が消滅する、マヌオーラヤになるでしょう。

数霊術的に、スワミはシヴァラートリーを見事に説明なさっています。Shivaratri = Shi + Va + Ra は11を意味します。なぜ11が重要なのでしょうか？なぜなら、11のルッドラがあるからです。そしてさらにスワミが見事に説明なさっているのは、これらの11のルッドラは、5つのカルメーンドリヤ（行動器官）と5つのグニャーネンドリヤ（知覚器官）と心（マインド）なのだということです。これらの11のルッドラを、もし善行を為しながら、心を神に没頭させて、神のために使うのであれば、私たちは喜びと至福の涙を流すことになるでしょう。5つの行動器官と5つの知覚器官と心（マインド）からなる同じ11のルッドラを、快楽に没頭させ、世俗に向けるのであれば、私たちは悲しみと嘆きの涙を流すことになるでしょう。その選択は私たち自身が決めるのです。それがこの美しいマハー シヴァラートリー祭が、神の栄光を歌い、神のことを考え、神に没頭しながら時を過ごすだけの価値がある理由なのです。

そして、シヴァラートリー祭には、いくつかの意義深いイベントがあります。一つは、スワミが体内から

リングムをお出しになるリンゴードバヴァです。リングムの意義は何でしょうか？スワミは、リングムとは、リム ガマヤティ イティ リンガハ（エネルギーが宇宙に注ぎ込まれたものがリングである）という意味であるとおっしゃっています。すなわち世界のすべてのものが融合し、一つになったものがリングムなのです。

私たちが、神には美しい御名と美しい御姿と美しい属性があると語るように、神はサグナ（属性があるもの）であり、サーカーラ（形があるもの）であり、同時にニルグナ（属性がないもの）であり、ニラーカーラ（無形のもの）です。属性がなく、姿がなく、名前がありません。それで、神は、オームカーラが、属性がなく（ニルグナ）無形の（ニラーカーラ）ブラフマンの言語的シンボルであることを示されました。そして属性がなく（ニルグナ）無形の（ニラーカーラ）ブラフマンの目に見える姿がリングムなのです。それがリングの意味です。そしてスワミは何度もリングムを物質化され、私たちの多くがそれを目撃してきました。

そして、シヴァ神の第二の特徴はヴィブーティです。それは、シヴァ神が自分の体中に塗り付けている神聖灰、バスマです。そして私が申し上げたとおり、スワミは多くの帰依者に何回もヴィブーティをお与えになりました。このヴィブーティの意義は何でしょうか？ヴィブーティとは神の栄光を意味します。この世にあるすべては一時的なものであり、最終的には一つのものになります。それが灰です。灰はそれ以上変わることはありません。葉っぱは変わるかもしれません。水は変化するかもしれません。花はしおれるかもしれません。しかし灰は決して変わりません。それが重要なのです。私たち全員が、スワミのヴィブーティという神聖灰を一度は使った経験があると思います。肉体的な病を癒すために、心理的苦痛を和らげるために。そしてまた繁栄と人生の究極のゴールである解脱への道を与えてもらうために。それがヴィブーティに関する素晴らしいことです。

この聖なるシヴァラートリーの第三の特徴は、この期間中に人々が断食と徹夜をするということです。その目的は何でしょうか？スワミは「神に夢中になり、神の栄光を歌い、神のことを考え、神の物語を思い起こしている時、あなたは食べ物や睡眠のことを忘れていきます」と、見事に説明なさっています。それは、あなたが神のことを忘れながら、眠らずにお腹を空かせているべきだということではありません。神に夢中になるあまりに、食べ物や睡眠のことも忘れる、ということがその目的なのです。しかし人々はそれとは逆のことを実践しています。皆さんに私の個人的なエピソードをご紹介します。今から約12年前のことです。シヴァラートリーの前日に、スワミが私に「明日のシヴァラートリーの日にはヤジュル マンディール（スワミのお住まい）に来て、私と一緒に昼食を食べなさい」と声をかけてくださったのです。「なんでシヴァラートリーの日にはスワミがあなたに食事をさせるんですか？」と、私の家族、友人、皆が私を笑いました。私は「これが神なのです、そして神がおっしゃったことなのです」と言いました。そしてなんと、スワミは本当にその日に私たちをお呼びになり、私たちはスワミと一緒に昼食をいただいたのです。ここにあるメッセージは、スワミは儀式的なことにこだわっているわけではないということです。断食と徹夜をして歌い続ける目的は、神と共にいることです。あなたが神と一緒に昼食を取ることができるのであれば、それ以上のことがあるのでしょうか？ですから、私たちが常に覚えておきたいのは、何をするにしても、その内なる意義、霊的意義は何なのか、ということです。

もう一つのことは、ビルヴァ（ベルノキ）の葉についてです。このお祭りでは、私たちがシヴァ神を礼拝する時に、二つのものを使います。（リンガムや神像に）水や蜂蜜やミルクをかけるアビシェーカムには、シヴァ神に非常に近く、非常に親しいと言われているビルヴァの葉を使います。このビルヴァの葉はユニークです。ビルヴァの葉を見てみると、三つ葉だということがわかります。三つの葉は、サットワ、タマス、ラジャスという三つのグナ（属性）を象徴しています。そしてまた、過去、現在、未来という三つのカーラ（時）も象徴しています。ブール（地上界）、ブヴァ（天界と地上界の間にある空）、スヴァハ（天界）という三つの世界（ローカ）も象徴しています。目が覚めている状態、夢を見ている状態、熟睡している状態という三つの状態（アヴァスタ）も象徴しています。肉体（ストウーラ）、微細体（スークシュマ）、原因体（カラシヤリーラ）という三つの体も象徴しています。これらすべてが、ビルヴァの葉の中に表されているのです。ですから、このビルヴァの葉を捧げるのであれば、あなたは三を超えなければなりません。さて、あなたがシヴァ神と一緒にいれば、あなたは三つのグナを超越し、三つの時を超越し、三界を超越し、三つの体を超越することになります。そしてあなたは神と一つになるのです。それがビルヴァの葉を使って礼拝する意義です。しかしスワミはこのようにおっしゃっています。「もしビルヴァの葉が手に入らなくても、アビシェーカムができなくても、心配しなくてよろしい。善行によって聖別された、あなたの身体そのものを捧げなさい。それがビルヴァの葉なのです。そしてアビシェーカムは、何もする必要はありません。喜びと至福の涙を流しなさい。それ自身がアビシェーカムとなります。」それが、スワミが教えてくださった内的意義です。

さて、そろそろこのメッセージを締めくくろうと思います。スワミはおっしゃいます。あなたはマハーシヴァラートリーについてどのようなメッセージを得ましたか？

一つ目は、シヴァが奉仕と犠牲の化身であることです。それが私たちが学ぶべきことです。そしてスワミはシヴァと同一の存在です。ですからシヴァ神は、人類を救うためにすべての世界を滅ぼすハラハラの毒を飲み干したのです。その次に彼は何をしたのでしょうか？シヴァは毒を飲み干しただけでなく、涼しくする月光をもたらす月と、自分の頭上から流れるガンジス川の水を与えました。ですからシヴァは、ネガティブなものを受け取るという犠牲を払い、ポジティブなものを人類に与えているのです。それが私たちがシヴァ神から学ぶべきメッセージです。

もう一つは簡素さです。シヴァ神は虎の毛皮しか着ておらず、体中に灰を塗り付け、蛇という飾りを着けています。それは、靈性求道者にとってのお手本です。すなわち、簡素さ（Simplicity）と犠牲（Sacrifice）と奉仕（Service）です。

スワミがおっしゃった第二のメッセージは、シヴァの家族に関することです。シヴァの家族はアーディクトゥムバム（第一の家族）と呼ばれています。なぜでしょうか？彼の家族のメンバーは、シヴァ神、彼の配偶者であるパールヴァティー女神、ガネーシャ神とスプブラマニヤム神という二人の息子で、それぞれが多くの靈性求道者たちに選ばれ崇められる神です。スワミがおっしゃるには、この家族の素晴らしさは、私たち全員が学ぶべき、調和の中の一体性と、多様性の中の一体性にあるのです。シヴァ神の乗

り物は何ですか？雄牛のナンディです。母親のパールヴァティー女神の乗り物は何ですか？ライオンです。ガネーシャ神の乗り物は何ですか？ネズミです。スッブラマニヤム神の乗り物は何ですか？クジャクです。そして、シヴァ神は首に蛇を巻き付けています。これらは皆、お互いに敵同士です。雄牛は虎に脅え、蛇はクジャクに悩まされ、ネズミは蛇に食べられます。これらすべてが敵同士ですが、彼らは調和と一体性の中で生きています。シヴァ神自身が一体性と調和のお手本です。シヴァ神には第三の目があります。これは火です。そして彼の頭の上からはガンジス川の水が流れています。水と火は相容れないものです。しかしシヴァは調和の中で生きています。これが、調和の中の一体性、多様性の中の一体性、というメッセージです。

最後に、スワミがおっしゃったもう一つの重要なメッセージは、いつでも、どこでも、すべての中に神を見なさい、ということです。それがメッセージです。皆さんに申し上げたとおり、ルッドラムには11のルッドラがあります。それはナマカムとチャマカムがそれぞれ11章（アヌヴァーカ）ずつあるということです。それらすべての中にある主要なメッセージは、一なるものを見る、ということです。植物であろうと、木であろうと、森であろうと、同じルッドラが宿っています。石であろうと、丘であろうと、山であろうと、同じルッドラが宿っています。湖でも、川でも、海でも、波でも、あぶくでも、同じルッドラが宿っています。聖者でも、泥棒でも、狩人でも、労働者でも、大工でも、宝石商でも、どんな職業の人でも、同じルッドラが宿っています。それが神がおっしゃっていることなのです。同一であると見るために、サルヴァム カルヴィダム ブランマー（まことに、このすべてがブラフマンなり）、イーシャーヴァースヤム イダム ジャガト（世界は神の中にある）、サルヴァム ヴィシヌマヤム ジャガト（世界はヴィシュヌ神で満ちている）、その一つであることを見るために、私たちはルッドラムを唱えるのです。私たちはその内的意義を知るべきです。そのとき初めて私たちは本当に体験することができ、恩恵を受けることができます。

ですから、このマハー シヴァラートリーという素晴らしい祝祭の日を、神を思い出しながら、神の物語を思い出しながら、神の栄光を歌いながら過ごして、私たちの命を聖なるものにしましょう。私たちが己の真の本性を悟るという至高の目標に向かって前進することができるように、私たちのサイ シヴァ神が、私たち全員に今日、最高級の祝福と恩寵を注いでくださることを祈ります。私たちの真の本性とは何でしょうか？私たちは神聖アートマの化身であるということです。

ジェイ サイ ラム